

令和6年度 第2回 播磨町子ども・子育て会議  
議事概要

日時	令和6年(2024年)9月27日(金) 13:30~15:00
場所	播磨町役場第1庁舎3階 BC会議室
出席者	播磨町子ども・子育て会議委員：16名 事務局：8名
協議事項	(1)子ども・子育て支援事業計画 令和5年度評価について (2)目標事業量と確保方策 (令和6年度進捗状況について) (3)「(仮称)播磨町こども計画」にかかるアンケート調査結果の報告について (4)「(仮称)播磨町こども計画」の課題、基本理念、基本目標、基本施策について (5)特定教育・保育施設の利用定員の設定について

1. 開会

2. あいさつ

3. 議事

(1) 子ども・子育て支援事業計画 令和5年度評価について

(2) 目標事業量と確保方策 (令和6年度進捗状況について)

(3) 「(仮称)播磨町こども計画」にかかるアンケート調査結果の報告について

**事務局**

【資料に基づき説明】

**会長**

ありがとうございました。ただいまの説明に対しご質問がありましたらお願いいたします。

**委員**

19ページの放課後などの自由時間を過ごす場所、小学生・中学生への問11についてです。小学生は学童で過ごしますが、学童のなくなった中学生はクラブ活動をする場所が高い割合になっていると思います。最近になり、外部指導や公民館などがあり、クラブは掛け持ちをしても良い、自由にやめてもいい、入らなくてもいいという選択肢があると思いますが、新しい体制になってから、今までに比べてクラブ以外での居場所は増えているのでしょうか。

## 委員

現在細かいところまでの調査はできていません。活動は、今までクラブに入るか入らないかということから、部活動以外の選択肢が増え、中学3年生が部活を辞めた後に地域の活動に行くことも増えています。いい意味で新しい時代に継続して活動できる場所が増えてきたと、高評価をいただいています。こども計画の中でも子どもの居場所は大きいところになってきます。教育委員会と部活動の地域移行は進めており、更にもう一步進んで、中学校だけではない、播磨町の社会教育施設すべてを含んだ総合的な生涯学習社会の構築に向けて進めるべきかと考えております。

## 委員

2点、分析の仕方について教えていただきたいです。一つ目は5番目の家族のお世話、いわゆるヤングケアラーについての問です。結果としては自身をケアラーかと思うかという問いに対してほぼそう思わないという回答になっています。その一方で小中学生とも数パーセントは大変なので助けてほしいという回答があり、大きくはなくとも乖離があるのかと思います。最終的にこの人をケアラーと捉えるかどうかの見解を教えてください。

また、34 ページから 37 ページにかけて、結婚と子どもを持つことに対して若者に問うています。15 歳から 29 歳で年齢の幅が広いと思いましたが、この結果をもって町としてどのように分析されているのか教えてください。

## 事務局

まずヤングケアラーについて、こども課として初めてアンケートを取りました。質問項目として小中学校で直接子どもにヤングケアラーかと問うことは避けた方が良くと現場からご意見を頂戴し、直接的な聞き方はしておりません。委員のおっしゃる通り 32 ページではお世話すること自体が大変だということと当たり前だという回答、当たり前とするが実際には苦勞しているのではないかということで、やはり一定数おられるのかなと捉えています。具体的なところは学校現場の先生やスクールカウンセラーやソーシャルワーカーの方々と一体になって実態についてはケースごとに対応していきたいと思います。

もう一点の結婚について、地域少子化対策事業ということで、協働推進課で新婚家庭で転入してきた方に対して経済的な支援を行っていますが、現在はそれしか行えていません。今後町の人口は減少していく可能性があり、人口増、維持は町の施策として重要なことと考えております。今までは引っ越してこられた方への支援しかできていませんでしたが、教育委員会、学校現場との連携が必要だと思います。小学校低学年から結婚や子育てに希望が持てるようなことを伝えられるようにしたいと思っています。

## 事務局

学校現場で取り組まれている内容は、中学生に対して赤ちゃんモデルに現場に出向いていただき、実際に子どもとふれあい、子育ての大変さと楽しさを感じていただいています。キャリアプランも含めて今後考えていただける現場になっていると思います。そこから先のことも、中学生だけでなく高校生やその先につながっていくことができればよいと思いますが、具体的には組めておらず、今後検討してまいりたいと思います。

**会長**

ありがとうございます。他にいかがですか。

**委員**

ヤングケアラーについてこの調査結果は半分子想通りでした。小学校は部活がないので弟妹の面倒を見ていて、中学になると部活があるためそれができず少し減るが、弟や妹の入浴を一緒にするなど容易に考えられます。ヤングケアラーの実態は把握することが難しいですが、小学校中学校とも悩み相談シートを学期ごとに行っています。そこにヤングケアラーに近い事案が出てきた時には個別に相談しながら、こども課と一緒に解決に向けて実際に行っています。一定数はありますが、ヤングケアラーのグレーゾーンがほとんどなので、今後そのあたりについてもより丁寧に関わっていく必要があると感じています。

**会長**

その他何かございますか。では次の議題に進みます。

(4) 「(仮称) 播磨町こども計画」の課題、基本理念、基本目標、基本施策について

**事務局**

【資料に基づき説明】

**会長**

説明をありがとうございました。今の説明に対してご質問等ございましたらお話してください。こども計画の案については次の会議で聞かせていただくことになりますか。

**事務局**

今回は11月か12月に素案について提示できる準備が整う予定です。整い次第日程調整をさせていただきます。基本理念も含めてご意見をいただきながら決定したいと思います。

**会長**

ありがとうございます。説明いただいた部分ではよろしいですか。議事を先に進めます。最後の議事について説明をお願いします。

(5) 特定教育・保育施設の利用定員の設定について

4. 閉会